

集会の案内

◇ 第 5 回飼料作物および芝草の分子育種の国際シンポジウム (The 5th International Symposium on the Molecular Breeding of Forage and Turf (MBFT2007)) のご案内

本年 7 月 1 ～ 6 日に札幌コンベンションセンターで「飼料作物と芝草における分子育種に関する国際シンポジウム (MBFT2007)」が開催されます。なお、日本育種学会は本国際学会開催の推薦団体になっております。

MBFT2007 ホームページ: <http://www.knt.co.jp/ec/2007/mbft/>
飼料作物と芝草における育種・分子育種研究者に加え、バイオ燃料作物の分子育種、耐旱性や耐塩性等作物の開発、マメ科植物のゲノム比較およびアポミクシスやエンドファイト菌の分子生物学などに関わる広範な講演者の招聘を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。

問い合わせ先: 山田敏彦 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

〒060-0811 札幌市北区北 11 条西 10 丁目

TEL&FAX: 011-706-3644 E-mail: yamada@fsc.hokudai.ac.jp

研究助成金の案内

◇ 財団法人タカノ農芸化学研究助成財団 平成 19 年度研究助成対象者募集要領

本財団は、農学、特に農芸化学 (生物資源等) に関する学術研究を助成し、もって学術研究の発展に寄与することを目的とし設立されました。本年度も、農芸化学等に関する研究を行っている大学等の研究機関の研究者に対し、研究助成金を交付いたします。特に、若手研究者への助成の枠を設け、今後の当該分野の研究促進に役立ちたいと考えています。

1. 研究課題 (1) 穀類並びに豆類の栽培・育種に関する研究 (2) 穀類並びに豆類の品質・成分並びに栄養生理等に関する研究 (3) 穀類並びに豆類の利用及び加工技術に関する研究 (4) 納豆菌等微生物の特性・生成酵素等に関する研究
2. 研究助成対象者 (1) 大学及び短大の研究者 (大学院生も含む) (2) 国立試験研究機関の研究者 (3) 公立試験研究機関の研究者 (4) その他本財団が適当と認めた研究者
3. 助成金額 一般研究者 1 件 100 万円を 7 件程度、若手研究者 1 件 50 万円を 6 件程度 (昭和 42 年 4 月 1 日以降に生まれた者)
4. 交付時期 平成 19 年 5 月予定

5. 申請手続き方法 当財団所定の申請用紙に必要事項を記入し、平成 19 年 3 月 20 日 (必着) までに郵送願います。尚、申請書用紙は、E-mail にお問合せいただけましたら、書類を添付して返信いたします。または、郵送用切手 (140 円) 同封の上、下記宛にご請求下さい。
6. 申請書請求先及び送付先 〒311-3411 茨城県小美玉市野田 1542 番地 (財) タカノ農芸化学研究助成財団
Tel: 0299-58-4363, Fax: 0299-58-3847
E-mail: tazaidan@takanofoods.co.jp
7. その他 同一研究課題で、他の団体等へ応募され、かつ、本年度重複助成となられた場合には、助成をできない場合がありますのでご注意ください。

地域活動だより

◇ 北海道談話会 (日本作物学会北海道談話会との共催)

シンポジウム「十勝畑作農業における新たな技術導入の試み」

日時: 平成 18 年 6 月 29 日 (木) ～ 6 月 30 日 (金)

会場: 北海道農業研究センター・道立十勝農業試験場

1. バレイショのソイルコンディショニング栽培 鈴木剛氏 (十勝農試栽培システム科)
2. 大豆の新しい除草体系 石川枝津子氏 (北農研バレイショ栽培技術研究チーム)
3. てんさいにおける DNA マーカーを利用した育種 田口和憲氏 (北農研寒地バイオマス研究チーム)
4. ナガイモの育種および栽培 鳥越昌隆氏 (十勝農試畑作園芸科)

第 242 回 例会

日時: 平成 18 年 8 月 2 日

会場: 北海道大学農学部

「Towards bridging the gap between structural and functional genomics by targeted genetic mapping in soybean」: Dr. Soon-Chun Jeong (BioEvaluation Center, Korea Research Institute of Bioscience and Biotechnology)

第 243 回 例会

日時: 平成 18 年 8 月 31 日

会場: 北海道大学農学部

「遺伝子組換え体と生物多様性」: 山口裕文氏 (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授)

第 244 回 例会

ミニ国際シンポジウム「持続可能な草地に向けた育種の取り組み」

日時：平成 18 年 9 月 28 日

会場：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

1. 「Genetics and breeding at IGER for multifunctional land-use」 Prof. Mervyn O. Humphreys (Director of Plant Breeding and Genetics Department Institute of Grassland and Environmental Research (IGER), UK)
2. 「Improvement of forage crops by genetic transformation」 Dr. Zeng-yu Wang (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター特任助教授, Forage Improvement Division, The Samuel Roberts Noble Foundation, USA)

年次講演会 (札幌農林学会) (61 課題)

日時：平成 18 年 12 月 2 日 (土)

会場：北海道大学農学部

一年生野生イネの持つ草型関連形質の QTL クラスタ：大西一光・堀内優貴・市川直史・丸岡正道・佐野芳雄／イネの草型と雑草に対する競争力を支配する QTLs：市川直史・丸岡正道・堀内優貴・古原洋・森田弘彦・大西一光・佐野芳雄／一年生野生イネと栽培稲の交雑後代由来の RILs 変異に含まれる発育的雑草抑制能の超越変異：伊藤勇樹・大西一光・市川直史・丸岡正道・佐野芳雄・清水博之／野生イネと栽培イネとの雑種集団に認められた乾物生産関連形質の変異：清水博之・伊藤勇樹・大西一光・佐野芳雄／イネの 3 出穂遺伝子 (Se1, Efl, m-Efl) に関する 8 準同質遺伝子系統 (NILs) の環境応答：大西篤・上床修弘・佐野芳雄／イネの育種における Hd1 遺伝子近傍域の選抜：藤野賢治・関口博史／栽培イネにおける Hd1 遺伝子変異：関口博史・藤野賢治／遺伝背景により作用が異なるアフリカイネ感光性遺伝子の解析：池田祐士・上床修弘・佐野芳雄／イネの少分げつ変異遺伝子 *ren4* のマッピング：アリヤラタナ モジット・高牟礼逸朗・加藤清明／イネ小穂の形態的突然変異体の遺伝解析－2 重外穎変異体－：桜井恒・長野宏則・佐野芳雄・高牟礼逸朗／野生イネ *Oryza longistaminata* より見いだされた花粉キラー S13 の遺伝解析：種市学佑・小出陽平・金澤章・佐野芳雄／イネ BT 型 CMS における *Ifr1* 遺伝子の弱稔性回復効果：太田宇香・長野宏則・金澤章・佐野芳雄／耐冷性極強イネ系統「上系 04501」における穂ばらみ期耐冷性 QTLs のマッピング：森正彦・吉村徹・品田博史・佐藤毅・加藤清明・三浦秀穂／水稻耐冷性中間母本の交配後代における耐冷性選抜と耐冷性 QTL の効果：松葉修一・黒木慎・斎藤浩二・加藤明・船附稚子・横上晴郁・清水博之／人工気象室における幼穂形成期から開花期の冷温が北海道水稻品種の稔実歩合に及ぼす影響：木下雅文・丹野久・佐藤毅／イネの日印品種分化に関わる幼芽低温抵抗性の解析：小熊恭代・Akhil Ranjan Baruah・石郷岡典子・安達美江子・大西一光・佐野芳雄／北海道で育成された水稻低タンパク質系統における窒素の吸収と分配特性：梶原靖久・平山裕治・田中一生・清水博之・岩間和人／稲品種「おぼろづき」の低アミロース性を支配

する遺伝子の解析：安東郁男・竹内善信・青木法明・平林秀介・黒木慎・清水博之・安藤露・佐藤宏之／半粒種子を用いたイネのアミロース含有率測定法：船附稚子・松葉修一・横上晴郁・清水博之／寒冷地における用途別ソルガム優良品種の選抜：星肇・義平大樹・高井智之・小阪進一／狭畦栽培したトウモロコシにおける根系と耐倒伏性との関係：岩永健吾・紀藤謙治・岩間和人・実山豊・寺内方克・羅紅兵／高圧流量計を用いた畑作物における根通導コンダクタンスの測定：佐藤正明・岩佐倫希・寺内方克・岩間和人・実山豊／最近のはっか栽培技術：五十嵐龍夫／ブラジル・トカンチンス州の農業事情：佐藤久泰・服部洋・山中聡／植物における外来性プロモーター領域のメチル化状態と転写型ジーンサイレンシングの安定性：太田垣駿吾・増田税・金澤章／ハウレンソウにおいて見出された多様な間性の遺伝解析：與那覇至・小野寺康之・三上哲夫／テンサイ *Rfl* の被子植物におけるカウンターパート遺伝子の解析：亀井陽子・濱口祐子・久保友彦・三上哲夫／テンサイ黒根病抵抗性の育成起源：田口和憲・岡崎和之・中司啓二／テンサイの抽苔耐性育種について：岡崎和之・田口和憲・高橋宙之・中司啓二／テンサイの採種栽培における交雑性に関する考察：高橋宙之・島本義也・林田政誉・中司啓二／テンサイ直播栽培における被覆作物利用による風害軽減効果：大波正寿・稲野一郎・鈴木剛・梶山努／高温・低土壌水分条件におけるテンサイの拡散抵抗の品種間差異：伊藤博武・横田和哉・中丸康夫・小松輝行・島本義也・吉田穂積／放任受粉条件における自殖性ソバの他殖程度：六笠裕治・鈴木達郎・本田裕／ミツバチを用いたソバ結実率向上に関する研究：井上泰一・我妻尚広・森高伸・関口拓也／初冬播栽培適性における麦類間の比較：川崎えり子・義平大樹・小阪進一／日長反応性遺伝子が春播小麦の農業特性に及ぼす効果：谷尾昌彦・田引正・伊藤美環子・西尾善太・山内宏昭／春まき小麦「春よ恋」の葉の黄化症状と生育・収量への影響について：佐藤三佳子・鈴木和織／春まき小麦品種「Thatcher」の赤さび病抵抗性準同質遺伝子系統の農業および品質特性：田引正・西尾善太・伊藤美環子・谷尾昌彦／雪腐病抵抗性コムギ品種 PI 173438 の hybrid dwarf および hybrid necrosis 遺伝子：入来規雄・厩田淳史・新発田修治・斎藤浩二・黒木慎／コムギ赤かび病および穂発芽に対する亜リン酸液肥の効果：内野紀彦・清水繁夫・三浦秀穂／DNA マーカー選抜により種子休眠性 QTL を導入したコムギ系統の種子発芽特性：厩田淳史・小池倫也・池口正二郎・筒井一郎／コムギ農林 61 号 *Wx* 準同質遺伝子系統の作出と品質特性：羽田崇伸・田引正・西尾善太・伊藤美環子・谷尾昌彦・三浦秀穂／パン用小麦「春のあけぼの」の準同質遺伝子系統を用いた生地の発酵時膨張応力と製パン性との関係の解析：大内幸太・橋本誠・小田有二・西尾善太・伊藤美環子・谷尾昌彦・田引正・山内宏昭／穂発芽耐性白粒コムギ系統の開発とそれらの小麦粉および澱粉特性：

Kottearachchi, S. N.・高尾慎一・伊藤美環子・谷尾昌彦・田引正・野田高弘・加藤清明・三浦秀穂／北海道小麦品種における DNA マーカーを利用したピュロインドリン、グルテニン、*Wx* 遺伝子タイプの解析：鈴木孝子・佐藤導謙・吉村康弘・竹内徹／赤かび病菌接種による春まき小麦の DON (デオキシニバレノール) 蓄積性検定：佐藤奈奈・小林聡・吉村康弘／栽培条件および土壌条件がコムギ子実の灰分含有率に及ぼす影響について：西村努・石川岳史・林将也・中村隆一・庵英俊・吉村康弘／めん用小麦の品質改善のための育種戦略：柳沢朗・西村努・吉村康弘・小林聡・池永充伸／カナダの春播きコムギ品種における土壌硬盤層への根の貫通力の遺伝変異—遺伝子マップ集団における親品種間の差異—：小塚大輝・今津翠・岩間和人・寺内方克・実山豊／バレイシヨにおける土壌含水率および根長密度を用いた吸水速度のモデル化：堀切学・岩間和人／バレイシヨにおけるロウ・ワセリン層埋設ポットを用いた根貫通力評価法の確立：ジャイゴバル・岩間和人・吹田亘・実山豊／バレイシヨにおける熟期別の疫病圃場抵抗性と初期生育量の関係：津田昌吾・向島信洋・小林晃・森元幸／深植え栽培におけるジャガイモの塊茎分布：向島信洋・小林晃・津田昌吾・森元幸／除草剤をもちいたバレイシヨ早期培土栽培の雑草対策：石川枝津子・石田茂樹・森元幸／カバークロップの生育初期における植被率と雑草発生量との生理的關係：弓立敏子・内野宙・岩間和人・寺内方克・実山豊／有機栽培におけるダイズ、トウモロコシおよびカバークロップの植被率と雑草抑制との関係：内野宙・弓立敏子・岩間和人・寺内方克・実山豊／コムギリビングマルチがダイズ畑の雑草と機械収穫に関連する形質に及ぼす影響：辻博之・大下泰生・船附秀行・君和田健二／大豆の根粒菌接種において接種資材の種類が根粒着生に及ぼす影響とその要因：中野寛・臼木一英・土田勝一／ダイズの花粉形成期および開花期における低温感受性：大西志全・白井滋久／WILIS 由来のダイズわい化病抵抗性系統の評価と選抜法：三好智明・鴻坂扶美子・田澤暁子・田中義則／ダイズ茎疫病の既知 10 レースに抵抗性を持たない品種・系統の圃場における発病差異：山下陽子・田澤暁子・南忠

◇ 中部地区談話会

第 14 回講演会

平成 18 年 12 月 12 日 (土) (野菜茶業研究所 3 階 大会議室)

話題提供《座長：森利樹 (三重県科学技術振興センター)》
単為結果性ナス品種の育成，野菜茶業研究所 野菜育種研究チーム 齊藤猛雄

ハクサイ根こぶ病抵抗性マーカーの開発，野菜茶業研究所 野菜ゲノム研究チーム 松元哲

幹事会 (マルチメディア室) 会計報告と次回・次々回開催地について

一般講演

セッション 1 《座長：松島憲一 (信州大学)》イネの胚形成を制御する遺伝子の単離と機能解析：伊澤康太郎¹・佐藤豊¹・北野英己² (1. 名大院生命農学, 2. 名大生物機能開発利用研究センター)／イネの根の発生・分化を支配する CRL4 遺伝子の単離：木富悠花¹・北野英己²・犬飼義明³ (1. 名大農, 2. 名大生物機能開発利用研究センター, 3. 名大院生命農学)／イネの側根数に関わる QTL のマッピング：出口崇¹・犬飼義明² (1. 名大農, 2. 名大院生命農学)／水稲品種 TS-3 の高温登熟耐性評価：田中省吾¹・水上優子²・吉村幸江²・船生岳人²・大矢俊夫² (1. 愛知県立農業大学校, 2. 愛知県農業総合試験場)

セッション 2 《座長：畠山勝徳 (野菜茶研)》コムギとオオムギの異数体における長日およびホルモン処理による種子稔性の改善：立松昌子¹・古田喜彦²・鈴木里美¹ (1. 岐阜大農, 2. 岐阜大応用生物科学)／Analyses of gene organization and expression in the S-locus region conferring a sporophytic self-incompatibility of *Ipomoea trifida*: Rahman, M. H.¹, T. Tsuchiya², K. Suwabe¹, K. Kakeda¹ and Y. Kowyama¹ (1. Plant Mol. Genet. Breed., Fac. Biores., Mie Univ., 2. Plant Funct. Genom., Life Sci. Res. Cent., Mie Univ.)／AFLP 法を用いたアマランサスの子実用栽培種および祖先野生種の類縁関係：渡邊篤史・根本和洋・南峰夫・松島憲一 (信州大学大学院農学研究科)／ヤグラネギのヤグラ形成に関する解剖学的研究：浅野淳・古田喜彦 (岐阜大学農学研究科)

セッション 3 《座長：犬飼義明 (名古屋大学)》トウガラシ種間雑種 (*Capsicum frutescens* × *C. chinense*) F2 世代における未熟果実色：馬場敏郎¹・松島憲一¹・番匠弘美²・南峰夫¹・根本和洋¹・Orapin Saritnum³ (1. 信州大院農, 2. 元信州大院農, 3. 岐阜連大院農)／Capsaicinoid contents in F2 generation of interspecific hybrid of chili pepper (*Capsicum frutescens* × *C. chinense*): Saritnum, O.¹, M. Minami², K. Matsushima², H. Bansho³, K. Nemoto² and T. Baba² (1. United Grad. Sch. Agric. Sci., Gifu U. (Shinshu U.), 2. Grad. Sch. Agric., Shinshu U. 3. Grad. Sch. Agric., Shinshu U. (former))／レタス栽培種における Sesquiterpene Lactones 含量の変異：荒川浩二郎¹・南峰夫²・石田了³・六角啓一³・中村浩蔵⁴・松島憲一²・根本和洋² (1. 岐阜大院連合農学, 2. 信州大院農, 3. タキイ種苗 (株), 4. 信州大農)／ダイコンスプラウトに含まれるグルコシノレート成分の同定と経時的変化：堀純奈¹・森光康次郎²・加藤藍²・吉秋斎¹・畠山勝徳¹・石田正彦¹ (1. 野菜茶研, 2. お茶大生活科学)

セッション 4 《座長：掛田克行 (三重大学)》Development of in vitro regeneration methods in *Chrysanthemum morifolium* petal culture: Nahid S. Jesmin and K. Hattori (Grad. Sch. Bioagr. Sci., Nagoya U.)／メロンにおける DNA マーカーによるえそ斑点ウイルス (MNSV) 抵抗性の選抜：吹野伸子・杉山充啓・坂田好輝・國久美由紀・

松元哲（農研機構野菜茶研）／レタスビッグベイン病におけるミラフィオリレタスウィルスの分布と接種検定に適したサンプリングの部位：富士山龍伊・川頭洋一・野口裕司（農研機構野菜茶研）

参加者：一般；36名・学生30名，計66名

◇ 中部（北陸）地区談話会

日本作物学会北陸支部・北陸育種談話会

第43回 総会・シンポジウム・学会賞授賞式・講演会

日時：平成18年7月18日（火）19日（水）

会場：ハイブ長岡

〈学会賞〉

堀内久満（福井県農業試験場）

北陸地域における良質、良食味を含む優良水稻品種育成（功労賞）

黒田晃（石川県農業総合研究センター）

理化学的特性に基づく米の食味評価に関する研究（学術賞）

〈シンポジウム〉

「北信越地域におけるダイズ栽培の問題点と高品質安定栽培技術」

田村良浩（新潟県農林水産部経営普及課）新潟県におけるダイズ栽培の現状と課題／寺西敏子（富山県農業技術センター）富山県におけるダイズ栽培の現状と問題点／田淵公清（北陸研究センター）北陸地域におけるしわ粒など品質低下要因の解明と対策／矢ヶ崎和弘（長野県中信農業試験場）高品質ダイズの安定生産に向けた品種開発の現状

〈一般講演〉

第1会場

◆座長《小林和幸（新潟農業大学校）》イネの第12染色体に座乗する分けつ数に関する遺伝子座の解析：蛭谷武志・小島洋一郎・船根政治（富山県農技セ）／DNAマーカーを用いたダイズの品種判別：福田真紀子¹・蛭谷武志¹・宝田研²・小島洋一郎¹・表野元保¹・舟根政治¹（1. 富山県農業技術センター，2. 富山県農業技術課）／普通ソバにおける収量構成形質の遺伝率：笠島真也¹・上田泰之¹・井上直人¹・加藤昌和¹・北林広巳²（1. 信州大学農学部，2. タカノ株式会社）／水稻「イクヒカリ」の形態的特性：土田政憲・笈田豊彦（福井農試）◆座長《土田政憲（福井農試）》地域農業の活性化を目指した有色素米品種の新規導入と発展方向—長岡市小国町森光集落の取り組みを事例として—：小林和幸^{1,2}・福山利範³（1. 新潟農大，2. 新潟大院自然科学，3. 新潟大農）／水稻早生品種「ゆきん子舞」の生育目安と施肥法：市川岳史¹・東聡志¹・奈良悦子¹・坂口いづみ¹・金高正典²（1. 新潟農総研・作物研究センター，2. 十日町農業普及指導センター）／砂質土壤における「てんたかく」の幼穂形成期の適正生育量：金田宏¹・野村幹雄²・高橋渉¹・荒井清完¹・守田和弘¹・寺西敏子¹（1. 富山県農業技術センター，2. 高岡農

業普及指導センター）／飼料イネの省力低コスト栽培法
2. 不耕起の直播栽培における催芽条件と施肥量が生育、収量に及ぼす影響：湯川智行・元林浩太・小島誠（中央農研・北陸研究センター）／飼料イネ品種の初期生育に及ぼす低温、温度日変化等の影響：松村修（中央農研・北陸研究センター）◆座長《高橋渉（富山農技）》イネ葉身の気孔コンダクタンスと気孔の形態的特性：中川博視¹・川合夏海²・永島秀樹¹・古賀博則¹（1. 石川県立大学，2. 石川県農業短期大学）／鉄道高架橋による日照阻害が水稻に及ぼす影響：黒田晃・畑中博英・小谷俊之・金田哲朗（石川県農業総合研究センター）／登熟期の高温による乳心白粒発生と稲体栄養条件：小谷俊之・黒田晃（石川県農業総合研究センター）／直播水稻の中期深水管理が、生育、収量および外観品質に及ぼす影響：瀬尾和敬¹・鯨幸夫¹・西畑孝義²・館哲也³・柴垣健太郎³・梅本英之⁴（1. 金沢大学教育学部，2. JA あおば大沢野営農センター，3. 富山県農業普及指導センター，4. 石川県農業総合研究センター）◆座長《小谷俊之（石川農総研）》イネの光（Biophoton of rice）：井上直人・笠島真也・加藤昌和・R. Mahmud（信州大学農学部）／玄米黒酢の葉面散布時における展着剤の有無がコシヒカリの生育・収量および品質に及ぼす影響：鈴木紗恵子¹・池田武²（1. 新潟大学大学院自然科学研究科，2. 新潟大学農学部）／玄米黒酢に含まれる数種のアミノ酸と酢酸がイネの生長に及ぼす影響：武藤愛・芝井亜矢子・池田武（新潟大学農学部）◆座長《松村修（中央農研・北陸研究センター）》素米の爆裂条件とその品種間差：吉田恭子・三輪章志・黒田晃・梅田清彰（石川県農業総合研究センター）／機械除草と耕種的除草法の組み合わせによる無農薬水田雑草管理法の検討：東聡志¹・金高正典²・奈良悦子¹（1. 新潟農総研・作物研究センター，2. 十日町農業普及指導センター）／長野県で発生した雑草イネ（トウコン）の脱粒特性について：細井淳¹・牛木純²（1. 長野県農事試験場，2. 中央農業総合研究センター）

第2会場

◆座長《高橋能彦（新潟大学農学部）》リン酸入り培土育苗が水稻の施肥リン酸利用率に及ぼす影響：鯨幸夫¹・川口祐子¹・梅本英之²・田代教昭³（1. 金沢大学教育学部，2. 石川農業総合研究センター，3. チッソ旭肥料株式会社）／水稻のカドミウム吸収に関する品種間差異：後藤明俊・笹原英樹・重宗明子・三浦清之（中央農研・北陸研究センター）／水稻湛水栽培下のルビジウムトレーサ法による根活性測定：南雲芳文¹・鈴木信²・土田徹¹・高橋能彦³（1. 新潟農総研・作物研，2. 新潟県経営普及課，3. 新潟大農）／福井県若狭町水田の水稻根の形態と収量品質の関係：河村真一（福井県嶺南振興局農業経営支援部）◆座長《井上直人（信州大学農学部）》たかきび（ソルガム）粉の活性酵素消去能における品種間差異：畠中洗・春日重光・仲谷侑子・丁沢賢治・船越裕子・松本理絵・市川直・工藤千枝・井上直人（信州大学農学部）／ソ

ルガム・スーダングラスの市販品種の幼苗における再生性の評価：松本理絵・春日重光・丁沢賢治・市川直・工藤千枝・畠中洸（信州大学農学部）／ソルガム紋枯病抵抗性と紫斑点病抵抗性遺伝子型の関係について：春日重光・松本理絵・丁沢賢治・橋本めぐみ・野宮桂（信州大学農学部附属 AFC）／ソルガム在来種の耐病性に関する品種・系統間差異：丁沢賢治・春日重光・仲谷侑子・船越裕子・松本理絵・市川直・工藤千枝・畠中洸（信州大学農学部附属 AFC）／ソルガムの栽培様式がヒエノアブラムシの発生密度に及ぼす影響：市川直・春日重光・工藤千枝・畠中洸・仲谷侑子・丁沢賢治・船越裕子・松本理絵（信州大学農学部附属 AFC）◆座長《田村良浩（新潟県経営普及課）》精麦用六条大麦新品種「シルキースノウ」の育成：中村和弘・細野哲・上原泰・牛山智彦（長野県農事試験場）／中華めん用硬質小麦新品種「ハナマントン（華漫天）」の育成：中村和弘・上原泰・細野哲・牛山智彦（長野県農事試験場）／飼料イネ跡大麦「ファイバースノウ」の生育：服部誠・佐藤徹・田村隆夫（新潟農総研・作物研）／越冬後追肥が大麦「ファイバースノウ」の収量および品質に与える影響：服部誠・佐藤徹・市川岳史・田村良浩・田村隆夫（新潟農総研・作物研）◆座長《中村和弘（長野農事試）》六条大麦「ファイバースノウ」における容積重、整粒歩合を高めるための適正穂数：守田和弘¹・野村幹雄²・金田宏¹・高橋渉¹・荒井清完¹（1. 富山県農業技術センター，2. 高岡農業普及指導センター）／六条大麦「ファイバースノウ」の容積重を高めるための生育指標：土田政憲¹・山田実²・笈田豊彦¹（1. 福井農試，2. 福井県農林水産部農業技術課）／携帯型作物生育情報測定装置を用いた大麦の生育診断：金田哲朗・森本英嗣・黒田晃・武田康一（石川県農業総合研究センター）◆座長《牛山智彦（長野農事試）》高冷地を利用した麦類の耐寒性特性検定法の開発：細野哲・中村和弘・上原泰（長野県農事試験場）／中華麺の硬さ（ゆで麺のび程度）と生地物性、食味官能評価の関連性について（第2報）上原泰¹・細井淳¹・細野哲¹・中村和弘¹・牛山智彦¹・松中仁²（1. 長野県農事試験場，2. 作物研究所）／六条オオムギを原料にした地ビールの開発：葎田隆治¹・下坪訓次¹・古米保²・松本幸司³（1. 富山県立大学短大部，2. 富山県立大学地域連携センター，3. いきいき地ビール（株））

第3会場

◆座長《中村博視（石川県立大学）》ダットンソバに含まれるルチン・ケルセチンの紫外励起蛍光分析：小森愛子¹・井上直人¹・藤田かおり²・加藤昌和³・笠島信也¹・五十嵐祥友¹（1. 信州大学農学部，2. 食品総合研究所，3. 岐阜大学連合農学研究科）／The influence of soil arsenic concentration on common buckwheat and castor oil plant: a comparative study: Mahmud, R.¹, N. Inoue¹, S. Kasajima¹ and M. Kato²（1. Faculty of Agriculture Shinshu University, 2. United Graduate School of Agriculture Science

Gifu University）／早期収穫がそばの品質に及ぼす影響：天谷美都希¹・北倉芳忠²・久保義人¹（1. 福井県食品加工研究所，2. 福井県農業試験場）◆座長《片山勝之（中央農研・北陸研究センター）》レタスにおける Sesquiterpene Lactones 分析用試料調製方法：荒川浩二郎¹・田中雅透²・中村浩蔵²・南峰夫²・石田了³・六角啓一³・松島憲一²・根本和洋²（1. 岐阜大学大学院連合農学研究科，2. 信州大学大学院農学研究科，3. タキイ種苗（株））／レタス育苗期における UV-A 処理が根腐病抵抗性に及ぼす影響：早川知一¹・井上直人¹・吉田清志²・加藤昌和¹・笠島信也¹・五十嵐祥友¹（1. 信州大学農学部，2. 長野県中信農業試験場）／UV-B 領域の植物における発育速度の基礎研究：五十嵐祥友¹・井上直人¹・笠島信也¹・加藤昌和²・早川知一¹・小森愛子¹（1. 信州大学農学部，2. 岐阜大学連合農学研究科）／富山湾深層水の作物に対する生長促進効果：葎田隆治¹・西川賢治¹・下坪訓次¹・古米保²（1. 富山県立大学短大部，2. 富山県立大学地域連携センター）◆座長《笈田豊彦（福井農試）》ダイズ下胚軸を用いたオーキシン類の簡易発根評価法について：下坪訓次¹・林健太郎¹・葎田隆治¹・古米保²・五十嵐康弘³（1. 富山県立大学短大部，2. 同大学地域連携センター，3. 同工学部）／大豆品種「エンレイ」産地別種子の特性比較試験：表野元保¹・福田真紀子¹・宝田研²・舟根政治¹（1. 富山農技セ，2. 富山県庁農業技術課）／土壌水分ストレスが大豆しわ粒の発生に及ぼす影響 第2報 生育初期の土壌過湿と根粒量、落葉時期の関係：荒井清完¹・吉田稔²・金田宏¹・細川吉裕¹・高橋渉¹・守田和弘¹（1. 富山県農業技術センター，2. 富山県農林水産部耕地課）／石膏の施用が狭畦栽培を行った根粒超着生ダイズ品種作系4号の根系生育、収量および品質に及ぼす影響：鯨幸夫¹・依本直征¹・萩原達彦¹・梅美菜子¹・梅本英之²・高橋幹³（1. 金沢大学教育学部，2. 石川農業総合研究センター，3. 農業・生物系特定産業技術研究機構作物研究所）／重粘土転換畑における高畝と微量要素資材施用がエダマメの生育収量に及ぼす影響：片山勝之・細野達夫（中央農研・北陸研究センター）

北陸作物学会報 第42号（2007）発行準備中（3月発行予定）

◇ 近畿地域談話会

2006年11月25日に近畿作物・育種研究会第162回例会および臨時総会を京都大学農学部で開催した。臨時総会では、継続審議となっていた機関誌「近畿作物・育種研究」の名称変更問題が討議され、採決の結果、2008年発行予定の第53号より「作物研究（英名，Journal of Crop Research）」として刊行することが可決された。

例会のプログラムは以下の通りである。

一般講演

ナタネ (*Brassica napus* L.) における開花期追肥の有効性の検討: 山川裕徳・秋田重誠 (滋賀県立大環境) / 窒素追肥量が畦畔法面上のセンチピートグラスの出穂に及ぼす影響: 川口佳則¹・井上拓弘²・秋田重誠¹ (1. 滋賀県立大環境, 2. 滋賀県農政水産部) / RAPD マーカーを用いたエノキタケの着色因子を含む連鎖解析: 種坂英次・本田良太・野中一志・久場章弘・吉田元信 (近畿大農) / ダイズ子実中のサポニン含量に関する SSR マーカーの探索: 寺石政義・西辻一真・緒方大輔・佐山貴司・奥本裕・谷坂隆俊・山田利昭 (京都大院農) / 異なる硝酸濃度条件におけるイネ幼植物の生育に関する遺伝子型間変異: 李紅燕・田口晴香・長谷川博 (滋賀県立大環境) / 水稲種子への温湯処理が兵庫県奨励品種の発芽に及ぼす影響: 来田康男, 米谷正, 池上勝 (兵庫県立農水技総セ) / 窒素源の種類が植物体における $\delta^{15}N$ の分布におよぼす影響: カドカ・ジャーナルダン¹・巽二郎² (1. 名古屋大生命, 2. 京都工繊大) / 水ストレスがムラサキ根におけるシコニン含量におよぼす影響: 鶴飼邦明・巽二郎 (京都工繊大) / イネ品種銀坊主における新規トランスポゾン *Pyong*: 大木信彦・奥本裕・築山拓司・内藤健・中崎鉄也・谷坂隆俊 (京都大院農) / ヒートショック照射による *mPing* ファミリーの転移誘導: 岩瀬祥子・内藤健・奥本裕・築山拓司・中崎鉄也・森田美佳・谷坂隆俊 (京都大院農)

特別講演

水稲の高温不稔一発生と耐性のメカニズム: 松井勤 (岐阜大農)

◇ 九州育種談話会

第一回九州育種談話会にも関わらず, 九州一円の大学, 国公立・民間試験研究機関から参加がありました。来年度は作物学会九州支部会との合同開催に向けて調製中です。

日時: 平成 18 年 12 月 8 日 (金), 9 日 (土)

場所: 九州東海大学農学部 (阿蘇キャンパス) 基礎教育センター A307

運営委員長: 村田達郎 (九州東海大学)

イネイントログレッション系統の作出と利用: 土井一行 (九州大学) / 福岡発, 麦類育種の状況について: 古庄雅彦 (福岡農総試) / 暖地普通ソバの安定多収化に向けて: 松井勝弘 (九州沖縄農業研究センター) / サツマイモ茎葉利用品種の機能性: 石黒浩二 (九州沖縄農業研究セン

ター) / イネ雑種弱勢の遺伝解析: 一谷勝之 (鹿児島大学)

講演会参加者: 79 名, 懇親会及び宿泊: アーデンホテル, 懇親会参加者: 28 名

見学: 東海大学宇宙情報センター

日本育種学会会員異動 (2006.10.21 ~ 2007.1.20)

◇ 普通会員入会: 小林聡, 齋藤修平, 向島信洋, 吉村康弘 (北海道), 川本朋彦 (秋田), 伊藤友子, 貝塚隆史, 藤田泰成, 宮城慎, 森田竜平 (茨城), 飯村一成 (栃木), 飯牟礼隆, 保木健宏 (群馬), 真野弘範 (千葉), 寺尾富夫 (新潟), 内松大輔 (山梨), 松古浩樹 (岐阜), 中村充 (愛知), 山口博隆 (三重), 内川修 (福岡)

◇ 学生会員入会: 浦野宗行, 大久保喜光 (青森), 神波千秋 (宮城), Joseph Sherman Kamara (山形), Winyasuk Wikanda, 下村英雄, 平野僚子, Rajit Nota (茨城), キンレイヌエ, ティティマー, フェンティフォンニー (東京), 大島昭作, 篠崎良仁 (神奈川), 栗波滋 (福井), Akond A. S. M. Golan Masum (岐阜), 木富悠花, 服部奨 (愛知), 亀井章人 (京都), 劉彩虹 (山口), Sukhumpinij Pornpan (愛媛)

◇ 外国会員入会: ANAS, BUDI SETIADI DARYONO (インドネシア), BADAUI GHAZI HANID, TAHIR IZZAT SIDAHMED ALI (スーダン), THITAPORN SUKHOTU (タイ), INAMULLAH (パキスタン), 林冬枝, 趙仁貴 (中華人民共和国), Mohammed Al-Bakry Rashad (EGYPT), CARPUTO DOMENICO (ITALY), PHAM QUANG DUY, TRAN THI MINH HANG (VIETNAM)

住所変更等

◇ 普通会員: 鳥山伸一 (宮城), 青木恵美子, 乙部 (桐渕) 千雅子, 手塚孝弘, 土門英司 (茨城), 藤田幸雄 (栃木), 船越裕子 (千葉), 岩城一考, 小西達夫, 矢野健太郎 (東京), 山村三郎 (神奈川), 金子隆史, 久保貴彦, 根角博久 (静岡), 坂本知昭 (愛知), 新庄康代 (滋賀), 出田収, 土屋隆生 (広島), 井門健太 (愛媛), 山口栄二 (熊本), 川上光男 (沖縄)

◇ 団体会員: 岡山県立図書館 (岡山)

◇ 外国会員: Khun Leanghak (カンボジア), Hagra Adel (EGYPT)